

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とリモコン受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。

■電球形蛍光灯使用上のご注意

- 点滅を頻繁に繰り返す場所ではランプ寿命が短くなりますので不向きです。
- 点灯直後は暗く約30秒で明るくなります。
- 点灯直後約20分間は明るさや光色が若干変化します。

■器具のお手入れ △ 注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
- シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。
(ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼になれない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)

製品・お取り扱いなどのご相談は

お客様相談室

ナビダイヤル
(全国共通番号)

電話  0570-055123

受付時間：9:00～17:30

※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

FAX 072-986-5036

修理・アフターサービスのお問い合わせは

サービスセンター

ナビダイヤル
(全国共通番号)

電話  0570-015123

FAX  0570-025123

受付時間：9:00～17:30

※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

- ナビダイヤルにかからない場合は、「お客様相談室」☎072-986-5081にお電話願います。

- ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2016年4月現在)

愛情点検

★長年ご使用の照明器具の点検を！



ご使用の際
このような
症状は
ありませんか

- スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。
- プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。
- プラグ、コード、本体などが異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- コードに傷や痛みが見られる。
- グローブ、セードなどにひびが見られる。



ご使用
中 止

故障や事故防止のため、電源スイッチを
切り、必ず販売店に点検、修理を依頼し
てください。



安全に
関する
ご注意

- 照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)
- 周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

コイズミ照明器具 保証書

＜保証について＞

- 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
- 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
- ランプ(LED電球含む)・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の
使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
(7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

＜アフターサービスについて＞

- 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
- 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
- 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。
※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店またはコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より) 本体:1年間 安定器・LED電源/モジュール:3年間		取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号	
お買上年月日			
お 客 様	お名前		
	ご住所		
	電話 ()		

コイズミ照明株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

再生紙を使用しています。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型 番 AD35813F

お客様へ

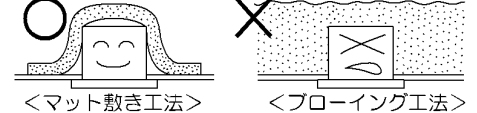
器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死にまたは重傷を負う可能性が想定される内容です。	
 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。
	 分解禁止 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
 禁止	(一社)日本照明工業会・断熱施工用埋込形照明器具SGI形適合品です。マット敷き工法(住宅用人工造鉱物繊維断熱材JIS A 9521)で施工された天井に使用することができます。フローイング工法(吹き込み用繊維質断熱材JIS A 9523)および特殊な断熱施工された天井には使用しないでください。 →火災の原因になります。
	 禁止 器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。 器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。 器具の直下は高温になっています。ドアや家具、ダンボールなどの可燃物を近づけて使用しないでください。 →被照射物の焼損による火災の原因になります。
 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。
 禁止 外郭が天井内の造営物やダクトなどの設備に触れないように施工してください。  <マット敷き工法> <フローイング工法>	
この器具は天井埋込専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 →器具の落下によるけがの原因になります。	

注 意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。	 禁止	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
 水ぬれ禁止	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
 禁止	ライトコントロールなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。		器具(部品)の取外しは工事店・電気店に依頼してください。 →感電の原因になります。
器具の下にストーブなどの高温のものを置かないで下さい。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。		照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状況で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。 →放置すると、火災・感電・故障の原因になります。	

■定格

型 番	定格電圧	周波数	消費電力	使用ランプ
AD35813F	AC100V	50/60Hz共用	10W	EFD15形(E26)×1

※センサ待機モードで消灯している場合、約0.2Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■施工前の確認

- 1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する
- 2 設置場所を確認する

・下図のような場所には取付けない
誤作動の原因になります。

白熱灯照明器具の近くには取付けないでください。

太陽光線や強い光が入る場合は、誤作動することがあります。センサの感知エリアは、気象条件によりバラツキがあります。

ストーブなどの高温熱源付近やエアコンなどの風のアたる場所には取付けないでください。

感知エリア内に障害物や風などでよく揺れるもの（植木、カーテンなど）のある場所には取付けないでください。

感知エリア内に小動物が入った場合にも反応し、作動することがあります。

・無線などによる電波障害で誤動作する場合があります。

- 3 器具と他の光源は(負荷連動する器具も含む) 1m以上離して取付ける
誤作動の原因になります。
- 4 取付面がクロス貼りの場合
接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。
変色やサビの原因になります。
- 5 自動点滅器(ディライトスイッチなど)との併用はしない
誤作動の原因になります。
- 6 壁スイッチを設ける
誤作動時のリセットおよびモードの切り替えができません。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

このような場所には取付けないでください。

傾斜天井

壁面

禁止

1 埋込穴寸法

強度の確保

2 電源線

接続端子(負荷用)

接続端子(電源用)

3 本体

人感センサ

4 ランプ

5 反射板枠

Vバネ

〈付属部品〉

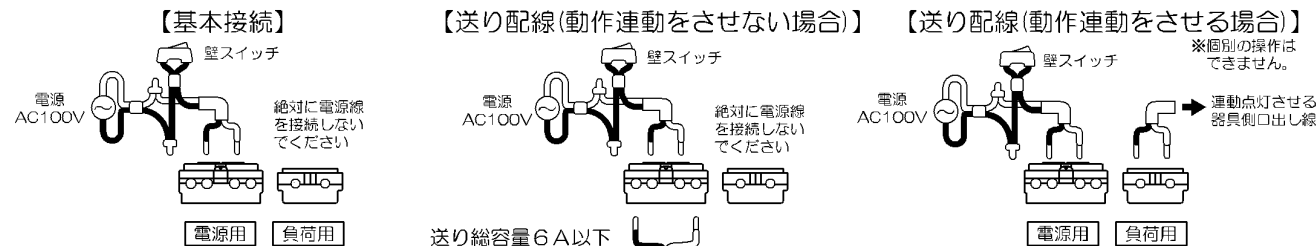
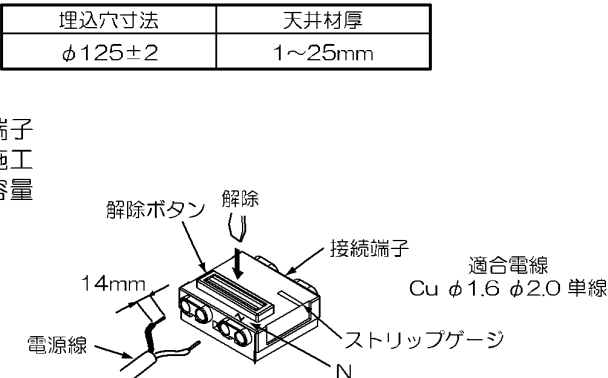
エリアマスク・・・・・・1個

1 天井に埋込穴をあける

2 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。このとき、電源線は器具から離して施工する。また、送り配線は照明器具専用とする。（送り総容量6A以下）電源接続をする際は壁スイッチを必ず設ける。送り配線を行う際は下図のと通りの配線を行う。はずす時は解除ボタンを押し、電源線を抜く。

警告 電源の接続は確実に行ってください。
接続が不完全な場合や電源線が器具に接触した場合、容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。



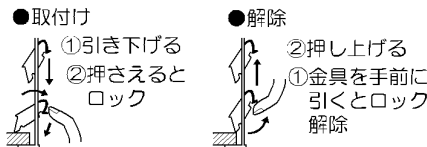
※センサ器具を接続しプルレス操作すると連続点灯モードに切り替わらない場合があります。

負荷連動(送り配線)できる器具
白熱灯60Wまで
蛍光灯（高力率不可）
グロー・クイック式 20Wまで
インバータ式 13Wまで
(電球形蛍光ランプ含む)

※センサ付器具は接続できません。

3 本体を取付ける

本体を天井穴へ押し上げ、天井に確実に取付ける。

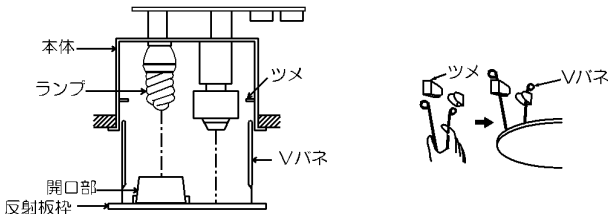


4 ランプを取付ける

5 反射板枠を取付ける

ランプと開口部の方向を合わせ、Vバネを指先で締めながら本体のツメに引っ掛けて水平に押し上げる。

6 点灯の確認を行なう



■センサの内容

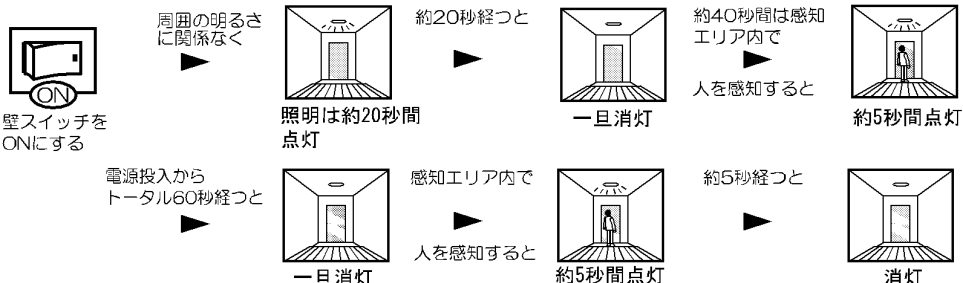
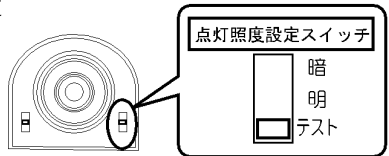
	スイッチ		スイッチ位置	設定内容
	短 中 長	点灯時間設定 スイッチ	短：約30秒間点灯 中：約1分間点灯 長：約3分間点灯	人を感知して点灯する時間を設定できます。
	暗 明 テスト	点灯照度設定 スイッチ	暗：約15lxで点灯 明：約45lxで点灯 テスト：周囲が明るい状態でも点灯	人感センサのはたらきは始める周囲の明るさの設定とセンサの動作確認(テスト)ができます。

※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。

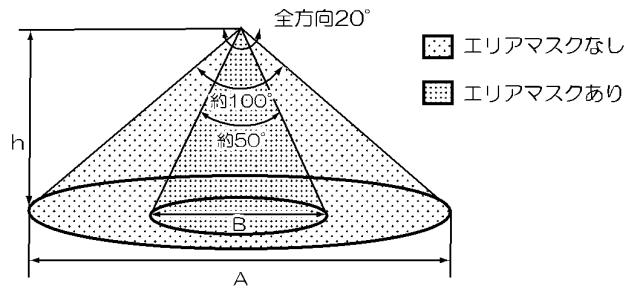
■感知エリアの設定

右図のように点灯照度設定スイッチを「テスト」に設定し、センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

- ①電源投入後、約20秒間点灯し、その後約40秒間は明るくても人を感知するごとに約5秒間点灯します。
電源投入から約60秒後に一旦消灯し、設定したモードになります。
結線および負荷の動作を確認できます。
- ②明るい時(昼間)でも人を感知する毎に約5秒間点灯します。
感知エリアを歩き、エリアの確認を行なってください。



※感知エリアはセード(グループ)の形状、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまでも目安としてください。



(m)		
高さ	A	B
h 2.0	5.0	(2.0)
2.5	6.0	(2.5)
3.0	7.0	(3.0)

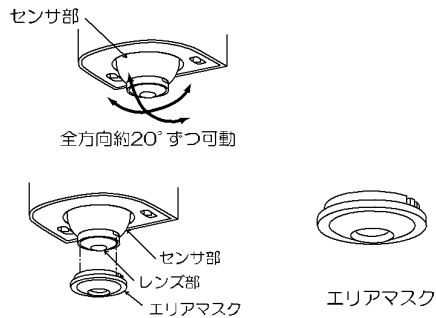
・センサを動かして感知エリアを調整できます。

※センサに向かったの動作では感知しにくい場合があります。
(約半分の距離になります。)

※調整範囲以上無理に動かさないでください。

〈エリアマスクの取付け〉

エリアマスクの凸部をセンサ部の凹部に”カチッ”と音がするまで確実にはめ込んでください。



※エリア確認後は必ず点灯照度設定スイッチを「明」または「暗」にしてください。点灯時間設定スイッチを「中」または「長」にしてください。（点滅回数の多い場所での「中」はしないでください。）

■センサの設定

ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで動作と点灯照度と点灯時間を設定してください

●センサの動作について(動作設定スイッチ)

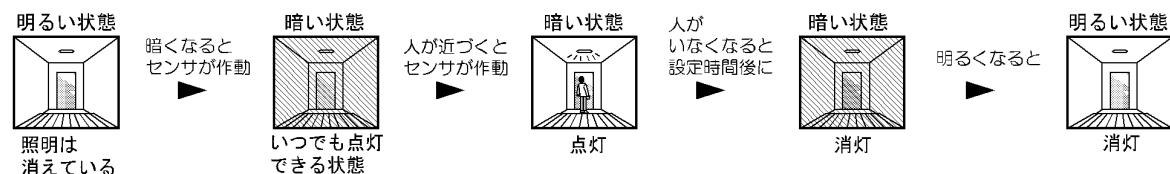
<センサ待機モード>

暗い状態で、人が近づくとセンサが感知して点灯します。

※電源投入後は約20秒点灯し、その後40秒間は明るくても人を感知することにより約5秒間点灯します。

電源投入から約60秒後に一旦消灯し設定した待機モードになります。

・オン/オフモード(必要な時だけ点灯で省エネ)



※設定後、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

■その他の設定

●壁スイッチの操作で8時間連続点灯ができます。

<連続点灯モード>

周囲の明るさや人体感知に関係なく連続点灯します。



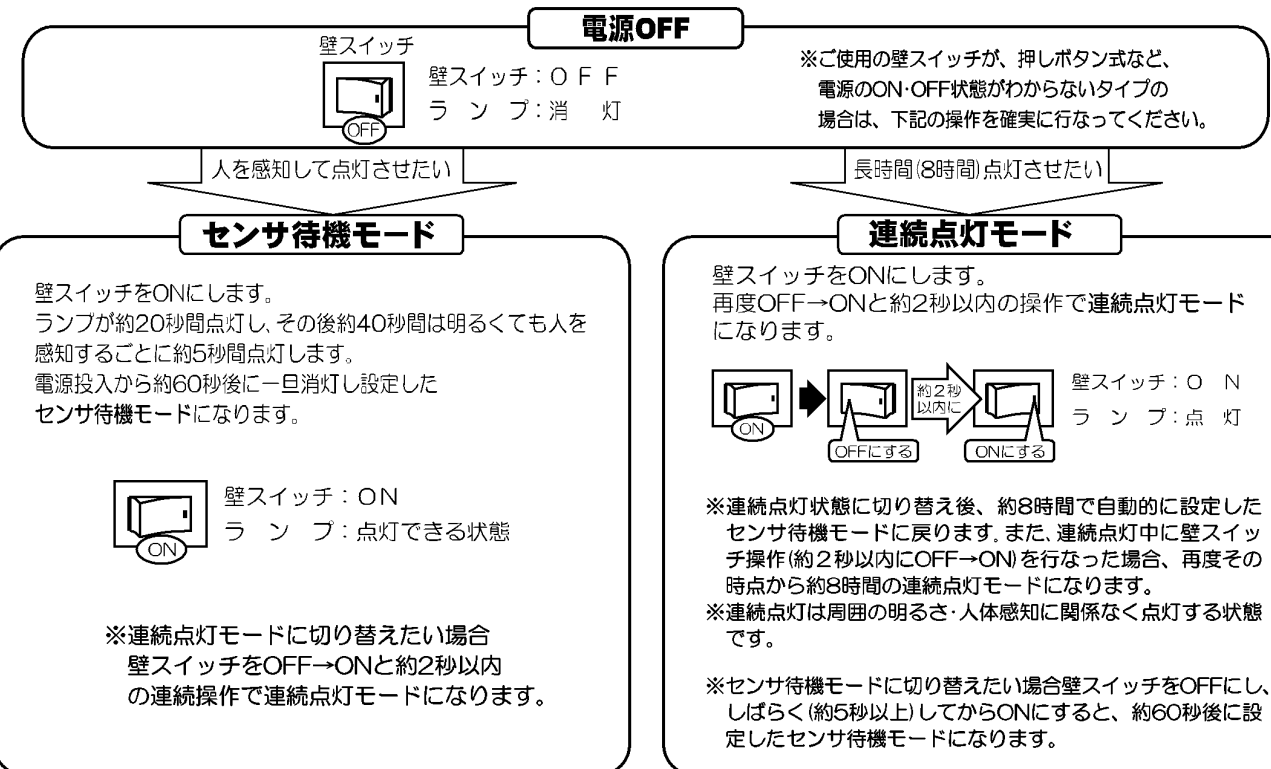
■モードの切り替えを壁スイッチで操作する(ブルース操作)

●この器具は、センサ待機モードと連続点灯モードを壁スイッチを使用して設定できます。

※この器具を使用される場合は、必ず壁スイッチを取付けてご使用ください。

壁スイッチを使用しないと誤動作のリセットおよびモードの切り替えができません。

※1つの壁スイッチで2台以上のセンサ器具をブルース操作すると連続点灯モードに切り替わらない場合があります。



<ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合>

壁スイッチの使用は2個(3路配線)までとしてください。3個(4路配線)以上使用されるとブルース動作が正常にはたらかない場合があります。

壁スイッチを3個以上使用される場合はホタルスイッチ以外のスイッチを使用してください。

<パイロットスイッチなど、電源ON時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合>

壁スイッチがONの状態でも、器具のランプが消灯している時は、スイッチのパイロットランプは点灯しません。

<押しボタン式など、電源のON-OFF状態がわからないタイプのスイッチを使用する場合>

スイッチを1回押しても点灯しない場合は、5秒以上過ぎてから再度押してください。

！ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。

間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。

やけどの原因になります。しばらくしてから行ってください。

1 電源を切る

2 反射板枠を取外す

枠を垂直に引き下げて、本体から取外してください。

3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。
落下によるけがの原因になります。

白熱ランプは使用できません。

5 ■施工手順5を参考に反射板枠を取付ける

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

